NO.708 2020

聖イグナチオ教会報

8・9月

カトリック麹町教会

MAGIS

『マジス』 ― 「より、もっと、さらに」

教会テーマ『勇気と寛大な心をもって出かけて行きなさい』（教皇フランシスコ）―「ミッション2030」― 新しい協働

危機の中で識別するということ

主任司祭　英　隆一朗

コロナウイルスによる感染症拡大が収束に向かうことなく、予断を許さない状況が続いている。困難であるものの、日常生活をある程度普通に続けられる面もある中で、どのような態度が必要だろうか。

私としては、「識別」の態度を強く勧めたい。霊的識別とは、悪霊（悪のいざない）と善霊（神からの促し）を見きわめ、悪の誘いを退け、神からの呼びかけに応えていくことである。特に、現在の混沌とする中ではそれはきわめて大切なことである。

コロナウイルスによる感染が流行しだしてから、一番強く感じるのは、恐れの感情に振り回されている人が多いということだ。コロナウイルスを正しく恐れることは大切だが、そこから過度な恐れにとらわれている人も多い。多くの人からメール、ファックスなどでさまざまなご意見をたまわった。中には、恐れや不安に振り回されているように見える人も多々おられた。未曾有の出来事なので、よく分からないことが多いのは仕方ないかもしれない。専門家の意見も統一されていないし、政府や都の対応もちぐはぐのようにも見える。逆に、もう大丈夫と安易に捉えることも危険である。

このような時こそ、神の前に身を置いて、平安な心を取り戻し、自分の心の中の動きを識別してみたい。人間の心の中の動きは、結局のところ、恐れと愛の動きの二つである。恐れの心を静め、愛の動きがどこにあるのか、それをしっかりと探してほしい。

基準は、イエスの言動である。当時から長い間、ハンセン病（ライ病、あるいは重い皮膚病）は不治のおそろしい感染症であった。その患者に対し、「イエスは深くあわれんで、手を差しのべてその人に触れ、『よろしい清くなれ』と言われると、たちまちハンセン病は去り、その人は清くなった」（マルコ1：41～42）と記されている。イエスのいやしの力は、伝染病の感染力を上回っていた。

感染を防ぐため、健康な人から完全に隔離されていた患者（宗教的に不浄というレッテルもつけられていた罪人）に対して、イエスは手を差しのべて、触れてしまうのだ。この非常識な行いには本当に驚いてしまう。イエスは当時の医学や宗教の常識に全くとらわれず、病と罪に触れるだけでなく、さらにいやしてしまったのである。

もちろん医学が発達している現在、コロナウイルスに感染している人に物理的に安易に触れることはできない。それは当たり前のことだが、それを超えて、イエスのこの言動が示唆していることを注視する必要がある。神のあわれみの心は感染の恐れを超えているということだ。

私たちがキリスト者として識別していくとき、恐れを基準にして考えるのではなく、神のあわれみを基準にするということになる。それを基準にして、ミサに来るか来ないか、教会などの活動を続けるかどうか、外出の頻度をどうするかなどを識別してほしい。一人ひとり答えが違ってかまわない。一人ひとりのおかれている状況は違うので、一人ひとりの識別がより重要になってくると思う。

この困難の中、カトリック教会自体が神のあわれみに基づいて歩んでいけるようにお祈りください。

教会報 MAGIS 8月・9月合併号

- 歩き出した教会　2頁
- 感謝：コロナ禍中のよきサマリア人に　3頁
- 設立27年のセントロ・クラベール　4頁
- オンライン講座案内　5頁
- 教会の今後の対応（7月10日）　6頁

8月の共同祈願

すべての人々と共に平和を祈ります。
主よ、私たちが平和を脅かす「差別や偏見」「分断」を退け、
他者とつながり、思いやりを持って、平和の実現のために、
行動することができますように。

担当：メルキゼデクの会

9月の共同祈願

私たちのまわりには、より良い未来を求めて、母国を離れざるを
得ない方々がおられます。私たちは、母なる愛をもって、兄弟姉妹を
受け入れるよう求められています。寛容・知恵・洞察力をもって
手を差し伸べる勇気を与えて下さいますように。

担当：セントロ・クラベール

〝当たり前〟であった活動に、感謝の思いを新たにして…
工夫を凝らし　歩き出した教会

●幼児洗礼式
多くの視聴者に祝福され

7月19日（日）10時ミサ（ネット配信）の中で二人の女児の幼児洗礼式が行われました。コロナ禍の中、準備会もインターネットのオンラインで行い、母国から帰国できないお父さんは、母国のご家族とライブ映像を見ながら参加されました。

司式の英神父は、「悪を乗り越えていく、強さ賢さを持った人間に成長できるよう。また、神の助けで困難の中から恵みを見出し作れるよう。みんなで協力し、祈りましょう」と話され、洗礼を授けました。

（教会事務室）

●講座洗礼式
静かに神さまと向き合って

復活祭で行うことができなかった洗礼式も、入門講座ごとなど少人数で行われるようになりました。

7月1日（水）には、10人の受洗者と代父母による、洗礼式がマリア聖堂で行われました。事前事後の消毒、ソーシャルディスタンスを保つために受洗者と代父母が離れて着席、聖歌もCD…と、いつもの洗礼式とは異なることが多かったのですが、李神父の力強い声に勇気づけられ、聖霊に満ちたミサを終えることができました。神さまに静かに向き合った洗礼式でした。

（安蒜悦子）

●合同追悼ミサ
祈りで繋がる合同追悼ミサ

コロナ禍の収束が見えない中、合同追悼ミサ（1回目）が7月11日（土）に帰天者の安らかな魂の憩いを願い、英神父の司式で執り行われました。聖歌なし、奉納なし、マスク着用、手指の消毒、3密を避ける感染症対策を取りながら帰天者お一人おひとりの氏名・霊名が読み上げられ、最後に参列者一同で「主よ、私たちの祈りを聞き入れてください」と心を込めて祈りました。

（内田和子）

●英語ミサ
スマホ等での事前登録を採用

国際英語ミサは、6月21日(日)正午のミサから事前申込み制(非公開)で再開しました。7月からは、ジョン・デ・ブリッド・イングリッシュセンターのSrフロール、Srレニーを中心に、電話やスマホ等を使った事前登録システムを取り入れ、ミサ当日は、登録番号を確認して入堂します。マスク着用・定員制のお願いも、イラスト入りパネルボードで案内したりと、工夫しています。ライブ配信ミサも継続中です！

（瀧田かよ子）

●子どもとともにささげるミサ
友だちと久しぶりの再会

梅雨の晴れ間がのぞいた7月12日（日）、2ヶ月ぶりに子どもとともにささげるミサが行われました。司式は李神父。事前予約制で限られた人数でしたが、子どもたちと保護者約30名が神さまのお恵みをいただき、神父さまや教会学校のリーダー、お友だちとの久しぶりの再会が何よりもうれしいミサとなりました。

侍者更新式も行われ、侍者会所属の子どもと参列していない子どもたち130人のために、新リーダーが祈りを捧げ、神父さまから祝福をいただきました。

（早川純子）

英隆一朗神父出版記念講演会
YouTube配信のお知らせ

最新刊の出版後、当教会で行われる予定だった記念講演会は、聖パウロ女子修道会にてオンラインで開催されました。YouTubeで配信中です。ぜひ、ご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=PdrIkmT35Bc

▲『黙示録から現代を読み解く』
（女子パウロ会発行・1200円＋税）

コロナ禍中の よきサマリア人に感謝

コロナ禍の中でこの社会を支えるため、献身的に仕事にあたるよきサマリア人「エッセンシャルワーカー」のみなさんへ、信徒から感謝のメッセージをお届けします。

●私の息子は今年、小学一年生となりました。コロナ禍の影響で入学式も危ぶまれましたが、無事に入学式を終えることができました。子供たちが感染しないよう、先生方が様々な防止策を講じながらの式でした。当日は真新しい制服にランドセルを背負った息子と、一緒に学校に向かいました。息子はいま毎日楽しく通学していますが、これも教員のみなさんのおかげであり感謝の思いしかありません。またいつも私たちをお守りくださっている神さまに感謝です。（I・H）

●「人数」ではない。看護師、清掃員、介護士、教師、警察官、消防士という名前でもない。それぞれ一人ひとりに人生があり、家族がある。愛する人愛してくれる人がいる。そんな皆さまお一人おひとりに、愛と感謝の祈りを贈ります。（T・R）

●駅員さんやバスの運転手さん、どうもありがとうございます。コロナ禍でいつもとは違う日々が続いても、電車とバスの運行はいつもと変わりませんでした。移動が制限されても、いつでも移動できるよう、そこにいてくれました。皆さんもご家族がいる中、多くの人と接点を持つお仕事はとても負担が大きいかと思います。私は「定期券は買っても交通利用しない」という方法で、皆さんをサポートしています。どうぞ健康にお気をつけ下さい。（W・A）

●『愛』。コロナ禍の医療現場は今、緊張と共に愛を体感させられます。前線で働く医師や看護師などの方々にも大切な、守るべき命と生活があります。それを同じ一人の人間として抱えながらも、患者さんのために身を呈して働いてくださる姿は感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございます。（S・K）

●宅配便業者の皆さま。ステイホームで社会全体の動きが止まる中、感染の可能性や心無い差別的言葉・対応にも怯む事なく、必要とする方々の元へ毎日着実に届けてくださることに、心より感謝申し上げます。お疲れ様です。（M・S）

●娘が幼稚園時代の同級生のお母さんが、今日もいつものスーパーで働いていらっしゃいました。以前「大変な中ありがとう」と声をかけましたが、今日は何も言わなかった私。今度会えたら、心を込めて感謝の気持ちを伝えたいです。（y.o）

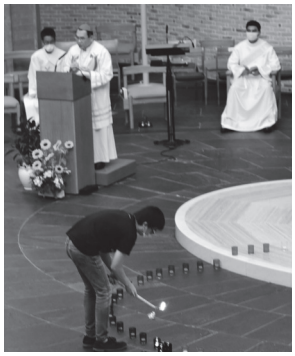
●朝晩のお祈りに”新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り”を取り入れるようになり早数ヶ月経ちました。最前線で働いておられる全てのエッセンシャルワーカーの皆様には心から感謝し、ご無事であるようこれからも祈り続けます。（Koko）

●パンデミックのなか、収入を減らされながらも命がけで働いている医療や介護の従事者のみなさんに感謝します。（O.T）

いやしびとに神の祝福を

イエズス会司祭　酒井陽介

それぞれの場で、持ち堪（こた）え、希望を忘れずに、他者のために生きている皆さん。傷ついた癒し人としての召命と使命を、神さまが祝福してくださいますように。こころとからだの健康が保たれ、理解と支えが行き届きますように祈っています。



◀菊地大司教様と共に五大陸カラーのキャンドルに祈りを

7月25日開催「五大陸ロザリオの祈り」
こんな時だからこそ…

東京オリンピックで世界中の人々で賑わっていたはずの今頃、このような形で祈りの機会をいただき感謝いたします。当初の計画から状況は変わり、運営の方々はとても大変だったと思いますが、これまでにない新しい祈りに参加させていただくことができました。

しかし、この日の前日は都内で多数の感染者があり、運営の方から「少しでも参加に不安があるならば決して無理をしないでください」と参加の確認の連絡をいただきました。ご配慮をありがたいと感じるとともに、こんな時だからこそ、この祈りに参加したいと強く思い、皆さまと祈りを終えた時には胸が熱くなりました。ロザリオに見立てた5色のキャンドルはキラキラと輝いていて、とてもきれいでした。この祈りが届きますように…。

（教会学校父母会会長　久保田郁子）

設立27年、支援続くセントロ・クラベール

ラテンの人々とずっと、これからも

ラテン系外国人の生活支援を行っているセントロ・クラベール。今年3月、教会内オフィスは閉鎖されましたが、27年に渡り支援活動を続けています。設立当初から活動を続けている藤井桂子さんにお話を伺いました。【担当E】

――セントロ・クラベールの役割と歴史を教えてください。

スペイン語圏、特にラテンアメリカの方々の生活支援、とりわけ様々な問題を抱える方に精神的・霊的なアドバイスを、そして家族や医療、司法の問題解決の支援をしています。これは強制送還される方や刑事事件の対応も含みます。

▲設立当初から支援に尽力したSr.コンスエロ。2015年母国スペインで帰天。

1993年6月、カンガス主任司祭のご発案で発足しました。当時の日本はバブル景気の崩壊直後でしたが、海外から出稼ぎに来た人がとても多く、ラテンアメリカの人たちも過酷な条件で就労していました。そんな彼らの生活支援をするために設立されました。当時スペイン語圏の人々のためにセントロ・ロヨラがすでに活動し、司牧や言語の習得などを主な活動としていたので、新しい役割を私たちが担いました。

名付け親は故メンディサバル神父。スペイン出身でアフリカ人奴隷解放に献身された聖クラベールから名前を頂きました。

――設立にきっかけが？

1990年のある日、成田空港から教会に連絡がありました。「デカセギ」に来た38人のペルー人が行き先も所持金もなく空港にとどまっていると。彼らを呼び寄せた業者が急に消えてしまい、日本に来た途端に路頭に迷ってしまったのです。そのためカンガス神父と故ブラザー・エルナンデス、故シスター・コンスエロが彼らを引き受け、教会で1か月ほど生活をさせました。その後も彼らの支援が続き、同様の相談もあったため、ラテンアメリカの人たちの支援をするセントロ（センター）が計画されました。

――藤井さんの活動はその当初から？

メンディサバル神父とシスター・コンスエロ、私を含む教会委員（現・信徒評議員）3名がセントロに派遣されました。主に霊的な指導は神父とシスターが、生活支援は委員3人がシスターの片腕となって担当しました。

――開設当時の活動は？

まずスペイン語ミサで、セントロの開設が案内されました。最初に行ったのは歯科相談。教会の信徒に歯科医の先生がたくさんいらしたので協力してもらいました。通訳ボランティアさんも手伝ってくれました。当初は相談という形で検診を行いましたが、需要が増え、治療も行いました。保健所からは「往診の形を取れば可能」とのお許しをもらい、旧聖堂の香部屋にドクターが機材を持ち込んで治療しました。

今ではとても考えられないことで、もうできないでしょうね。その後は月に一度の医療相談も始まりました。彼らは外国人というだけで病院から門前払いされていたのですが、この相談の担当医が発行した紹介状によって街の病院で診察してもらえるようになったのです。これは本当に大きな助けになりました。

「み旨のまま」に27年

――刑事事件にも対応されたと聞いていますが？

裁判の支援、被告人や受刑者との文通をしています。彼らの手紙を「ラブレター」と言っています（笑）。

バブル崩壊で失職した人たちが犯罪に走るケースが増加しました。窃盗や強盗、売春、麻薬など。彼らの公判から受刑、そして帰国までを支援しています。

彼らは罪を犯してしまいました。けれど何があっても、祈ることだけはやめません。幼いころから身についたことだからです。刑務所で聖書を読み、祈ります。それを見た日本人受刑者が聖書に興味を持ち、手紙をくださることが増えました。日本人からも「ラブレター」をいただきますよ。

――3月で専用オフィスはなくなりましたが、活動は続きます。27年継続できたわけは何でしょう？

み旨のままにやってきました。スペイン語だって片言でした。「これでいいのかしら？」と思いながらやってきました。今はオフィスがなく常駐はしていませんが、教会でラテン系の人に「藤井さん、どこにいるの？」と声をかけられることがあります。彼らに会うことで自分が育てられました。本当に感謝の日々です。

オンライン講座のご案内

2020 年 6 月 27（土）～ 2021 年 3 月 6 日（土）　毎週土曜日 午前 9:00 配信（全 35 回予定）

講師：ハビエル・ガラルダ神父 、岩島忠彦神父、Sr. 杉原法子（援助マリア修道会）、Sr. 品川ヨシ子（援助修道会）

新型コロナウイルス感染防止のため、教会の入門講座を休止し、代わりに YouTube でオンライン講座を配信しています（全 35 回）。信徒の皆さんもご活用ください。

受講にあたってのご注意

・日本聖書協会「新共同訳聖書」をご用意下さい。（知りたい聖書箇所の検索は日本聖書協会ホームページでできます）。
・洗礼希望の方は、公開講座が再開され次第、入門講座のどれかにご参加下さい。オンライン講座を見れば洗礼を受けられるということではありませんが、公開講座再開までの間はオンライン講座で準備してください。

配信スケジュール

※ 予定やテーマが変更になるときは、教会ホームページでお知らせします。

配信日時	テーマ	講師
6 /27(土) 9:00-	1．キリスト教とは何か－その輪郭	岩島忠彦神父
7 / 4 (土) 9:00-	2．人生の目的－何のために生きているのか？	Sr. 杉原法子
7 /11(土) 9:00-	3．天地創造－神と世界と私の関係	ハビエル・ガラルダ神父
7 /18(土) 9:00-	4．楽園と失楽園－聖性への招き	Sr. 杉原法子
7 /25(土) 9:00-	5．信仰者の父アブラハム	Sr. 品川ヨシ子
8 / 1 (土) 9:00-	6．旧約聖書の世界（1）－モーセの契約	岩島忠彦神父
8 / 8 (土) 9:00-	7．旧約聖書の世界（2）－預言者イザヤと未来への希望	Sr. 杉原法子
8 /15(土) 9:00-	8．4 つの福音書－その中に見られるイエスの姿	Sr. 品川ヨシ子
8 /22(土) 9:00-	9．イエスの使命－神さまの人類への計画	Sr. 杉原法子
8 /29(土) 9:00-	10. たとえ話を語るイエス－「神の国」の奥義	ハビエル・ガラルダ神父
9 / 5 (土) 9:00-	11. 奇跡－自然から超自然へ	岩島忠彦神父
9 /12(土) 9:00-	12. イエスの教え（1）－神さまは「善き方」	岩島忠彦神父
9 /19(土) 9:00-	13. イエスの教え（2）－信じることは愛すること	ハビエル・ガラルダ神父
9 /26(土) 9:00-	14. イエスの生き方（1）－深くあわれまれた…	ハビエル・ガラルダ神父
10/ 3 (土) 9:00-	15. イエスの生き方（2）－真実をかけた論争	岩島忠彦神父
10/10(土) 9:00-	16. イエスの生き方（3）－人の力を越える運命	岩島忠彦神父
10/17(土) 9:00-	17. 受難と死－福音の頂点としての十字架	Sr. 杉原法子
10/24(土) 9:00-	18. 復活－活ける主キリストとの新たな出会い	岩島忠彦神父
10/31(土) 9:00-	19. 過越の神秘－生と死、そして再生	Sr. 杉原法子
11/ 7 (土) 9:00-	20.「神の子」キリスト－新約聖書の信仰	岩島忠彦神父
11/14(土) 9:00-	21. 教会の誕生－使徒たちの使命	Sr. 品川ヨシ子
11/21(土) 9:00-	22. 教会は「キリストの体」－パウロの宣教と教え	Sr. 品川ヨシ子
11/28(土) 9:00-	23. 教会の歩み－歴史を通して働くキリストの命と救い	岩島忠彦神父
12/ 5 (土) 9:00-	24. 教会と秘跡－神の命は確かに働き続ける	Sr. 杉原法子
12/12(土) 9:00-	25. 信仰宣言－何を信じるか、どう信じるか	Sr. 品川ヨシ子
12/19(土) 9:00-	26. 祈り－生きることは祈ること	ハビエル・ガラルダ神父
1 / 9 (土) 9:00-	27. 霊的生活－神の導きに生きる	Sr. 品川ヨシ子
1 /16(土) 9:00-	28. 洗礼と堅信（1）－「神の子」として新たに生まれる	岩島忠彦神父
1 /23(土) 9:00-	29. 洗礼と堅信（2）－教会のメンバーとなる	Sr. 品川ヨシ子
1 /30(土) 9:00-	30. ミサと聖体の秘跡－キリストにおいて神と結ばれる	岩島忠彦神父
2 / 6 (土) 9:00-	31. 罪とゆるしの秘跡－いつくしみの福音の真髄	ハビエル・ガラルダ神父
2 /13(土) 9:00-	32. キリスト者の生き方（1）－結婚と独身生活	ハビエル・ガラルダ神父
2 /20(土) 9:00-	33. キリスト者の生き方（2）－この世を愛する信仰	Sr. 品川ヨシ子
2 /27(土) 9:00-	34. キリスト者の生き方（3）－運命と試練	岩島忠彦神父
3 / 6 (土) 9:00-	35. 死と永遠の生命－死・審判・地獄・天国・煉獄	ハビエル・ガラルダ神父

イエズス会聖三木図書館から

イエズス会聖三木図書館の現行対応についてご案内します。

・新型コロナウイルス感染症対策を行った上で段階的にサービスを再開します。
・電話またはオンライン上で予約した資料を、来館または郵送で貸出しするサービスを行っています。
・来館せずに新規会員登録ができます。
・詳しくはホームページにて（蔵書検索も可）。

・予約・問合せ時間　月火水金 11：30 ～ 16：00
　　土日　　11：30 ～ 17：00
・休館日（木曜日、国民の祝日、毎月末）
・夏休み　8 月 10 日（月）～ 16 日（日）
・書架、閲覧席の利用は当面の間不可。

TEL　03-3262-0364　seimikibunko@jesuits.or.jp
http://www.jesuits.or.jp/~j_seimikibun/index.html

聖イグナチオ教会の今後の対応（7 月 10 日）

信徒の皆さま

2020 年 7 月 10 日
主任司祭　英　隆一朗 s.j.

梅雨のうっとうしい日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。6 月終わりから教会はミサや活動を部分的に再開しました。ミサには、グループによる事前予約の人たちが徐々に参加するようになりました。全員参加までの道はまだ遠いですが、少しでもミサにあずかることができる人がいて、本来の教会の姿を少しずつ取り戻しつつあります。

今回の方針を通して見えてきたことは、この教会では、何のグループにも属しておらず、顔見知りの友人すらいない人が多数おられるということです。この教会は不特定多数の人が集まる都会型の教会の典型でしょう。信徒同士のつながりがきわめて弱い教会であることが改めて分かりました。

今まではそれでよかったでしょうが、現在のコロナウイルスによる感染症拡大の状況を見る限り、今後 2 年くらいは大きなミサや集まり（主日の公開ミサ、クリスマスミサや聖週間の典礼、教会祭やバザー、講演会やコンサートなど）を例年どおりに行うことは不可能でしょう。大きなイベントに個人で参加する教会はもう立ち行かなくなりました。

今、私たちができるのは、かなり限られた形での、小さなミサや小さな集まりだけです。それらを行うには、信徒同士がつながっている小共同体的なかかわりに頼らざるをえないです。このような状況を単にマイナスととらえず、信徒同士のつながりを改めて築いてく一つの好機として捉えていきたいと思います。イグナチオ教会が共同体として変わっていく好機かもしれません。急に知り合いを作ることはできないでしょうが、少しでもかかわりのあるところから、小さなつながり・小さな共同体を作っていきたいと思います。そういうことを願いながら、以下のように変更していきます。

1．グループで事前予約をする形を継続

・不測の事態を想定すると、不特定多数の人を集めることは原則としてできません。グループのつながりを基礎にして、ミサや活動を行っていきたいです。そのグループは単にいつものメンバーだけにとどめず、孤立していそうな人に声をかけながら、たえず開かれたものにしてください。例えば、代父代母の方は、少し縁遠くなった代子に声をかけてみてください。

・また、現在孤立している人は、すぐにあきらめてしまわず、何らかのかかわりをたどりながら、少しでも仲間とつながるように祈り求めてください。この教会で受洗した人は、代父代母、以前の講座のつながりなどをたどりながら、知り合いを探してみるところから始めてみましょう。

・なお、ミサ（主日・平日）の申込は、前日の昼までにお願いします。衛生係は廃止して、一人ひとりの手指の消毒などに気をつけてくださるようにお願いします。

2．個人的に申し込む場

・日曜日の午前中（9 時過ぎ～ 11 時過ぎ）には、ウェルカムテーブルを開いています。個人の方はそこに行けば、グループを作って、翌週以降のミサ（8 時 30 分か 10 時）に申し込むことができます。すぐにグループを作れない人は、彼らに直接相談してください（電話相談はできません）。

3．日曜日朝 7 時・夕方 6 時のミサは個人参加を容認

・この 2 つのミサは例外的に個人参加を認めることにしました。事前予約なしで、参加希望の方は早めに来て、受付をしてください。感染症対策はより徹底してお願いします。定員は 100 名で、ミサ開始時刻には締め切ります。1 人月 1 回くらいの頻度でお願いします。
・ただ、かなりの係が必要になるかもしれません。聖堂係が担当しますが、場合によっては皆さんに協力をお願いすることもあるかもしれません（受付・会場係・献金係など）。その場合は寛大にご協力ください。個人参加の場合であっても、単に受け身にミサにあずかるだけでなく、教会共同体に貢献していく前向きな姿勢と、仲間づくりをこころがけてください。

4．平日のミサについて

・平日もグループによる事前予約のあるミサしか認めていません。しかしながら、平日の 12 時のミサは工夫していくつもりです。例えば、日曜日に参加できない人のため、高齢者のため、親子連れのためなど、募集する人を限定して、個人参加のミサを作る可能性があります。その場合、聖堂係に負担がかかりますので、責任をもって協力してくださるグループがあるならば、申し出てください。多様なニーズに応えていく形を模索していくつもりです。

5．その他

・教会に来られない人のために、オンラインのミサを続けます。折り鶴プロジェクトも継続します。今回新たに、キリスト教の勉強をされたい方のために、オンラインの入門講座を始めました。教会のホームページから Youtube 配信を視聴することができます。それらも大いに活用してください。

6．私たちの心がけ

・今はコロナウイルスによる感染症拡大により、教会活動はかなり制限されています。その中で、ただ文句を言ったり、ただあきらめたりするのではなく、神に問いかけながら、今の自分にできることを探してみてください。制限されているからこそ、創造的な工夫が求められています。
・仲間づくりを心がけることは、ミッション 2030 の柱である、「福音を伝えること」や、「共同体を生きる」ことにつながっていくと思います。皆さん一人ひとりが教会であり、皆さんの一人ひとりの働きがこれまで以上に必要とされています。神により頼みながら、心を合わせて、力を合わせ、互いに協力していきましょう。

8 月の典礼と行事

2　（日）　年間第 18 主日	
6　（木）　主の変容	**日本カトリック平和旬間（6 日～ 15 日）**
7　（金）　初金曜日	
8　（土）	**平和を願うミサ　18：00　カテドラル（非公開　ライブ映像配信）**
9　（日）　年間第 19 主日	
15　（土）　聖母被昇天の祭日	**平和祈願ミサ　7：00　10：00　12：00（英語）　18：00**
16　（日）　年間第 20 主日	
23　（日）　年間第 21 主日	
30　（日）　年間第 22 主日	

9 月の典礼と行事

4　（金）　初金曜日	
6　（日）　年間第 23 主日	**被造物を大切にする世界祈願日**
13　（日）　年間第 24 主日	子どもとともにささげるミサ　10：00
14　（月）　十字架称賛の祝日	
20　（日）　年間第 25 主日	**敬老のミサ　10：00（中止）**
27　（日）　年間第 26 主日	**教会活動連絡会議　13：00　ヨセフホール　　世界難民移住移動者の日・献金**

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定が変更になる場合があります。

７月の宣教司牧評議会から

今年度信徒評議員について、６月で安達泰博氏が退任し、７月より加藤仁司氏が任命されました。

セントロ・クラベールについて

マジス７月号でセントロ・クラベールについて３月で活動を終了と報告しましたが、活動は継続中です。訂正してお詫びいたします。

財務報告

・６月 28 日（日）聖ペトロ使途座への献金 211,179 円は教皇さまの活動のために捧げます。

教会の夏休み

教会案内所　８月10日（月）～15 日（土）夏休み

信徒会館　　８月１日（土）～31 日（月）19時閉館

クリプタは平常通り（９時～16時）お参りできます。

主任司祭：英　隆一朗
助任司祭：ボニー・ジェームス
　　李　相源
協力司祭：ヘネロソ・フローレス
　　ハビエル・ガラルダ
　　グエン・タン・ニャー
　　マヌエル・シルゴ
ブラザー：吉羽　弘明
シスター：イベッテ・サンチェス
　　（セントロ・ロヨラ）
　　フロール・フロレーセ
　　（ジョン・デ・ブリッド　イングリッシュセンター）

ミサの時間　Mass

【平日 Weekday】主聖堂　Main Chapel
７：00 / 12：00 / 18：00

【日曜日 Sunday】主聖堂　Main Chapel
土曜 18：00/7：00 / 8：30 / 10：00 / 18：00
12：00（English）/ 13：30（Español）

【月の第 1 日曜日 1st Sunday】
Main Chapel　15：00（Việt Nam）
Our Lady's Chapel　12：30（Português）
　　16：00（Polski）
Xavier Chapel　16：00（Indonesian）

【月の第 3 日曜日 3rd Sunday】
Main Chapel　15：00（Việt Nam）
Our Lady's Chapel　16：30（Indonesian）

カトリック麹町教会
（聖イグナチオ教会）
〒 102 － 0083
千代田区麹町 6 － 5 － 1
TEL 03 － 3263 － 4584
FAX 03 － 3263 － 4585
http://www.ignatius.gr.jp
ホームページ　フェイスブック

マジスへのご意見ご要望などのお便りは事務室までお寄せください。